

02
PRE-EVENT

さいたまトリエンナーレ2016 プレイイベント

「小沢剛：あなたが誰かを好きなように、
誰もが誰かを好き」さいたま版



SAITAMA
TRIENNALE
2016
さいたまトリエンナーレ 2016



さいたま市北区プラザノースに

誰でも登れる巨大な2つの「ふとん山」が出現！

さらに、多彩なイベントも開催します。

参加
無料

2015年 月曜・祝日
10月2日(金) → 12日(水)
10:00 — 17:00
さいたま市プラザノース
2Fノースギャラリー8 | 無料 / 申し込み不要
10月7日[水]は閉場 / 大人ナイトは18:00-20:00も開場

主催 さいたまトリエンナーレ実行委員会
協力 いわき芸術文化交流館アリオス、市原湖畔美術館、瀬田憲男
助成 文化庁(平成27年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業)

小沢剛:

あなたが誰かを
好きなように、

さいたま
版

誰もが誰かを好き



<http://saitamatriennale.jp/>



文化庁

マクマゼン
会期中イベント

1

10月2日 / 3日 / 11日

大人だけのふとん山ナイト!

「ふとん山」では、ふだんは子どもが主役。けれども本当は大人だって、思い切りゴロゴロして遊びたい。そんな夢を叶えるため、夜もふとん山を開放します。この時間帯は基本的に大人のみご参加いただけます。お仕事帰りにぜひどうぞ。

【日 時】 2015年10月2日(金)、3日(土)、11日(日) 18:00-20:00
【参 加】 無料 / 申し込み不要

2

10月9日

ナイトトーク1: 「ふとん山で、さいたまの地形を語り尽くそう」

2つのふとん山の出現により、会場には谷地も生まれることとなります。谷や窪地などの凹みを「スリバチ地形」と名づけて、研究している皆川典久さんをお招きし、地形が教えてくれる歴史の痕跡や街並みの成り立ち、場所が持つ潜在的な記憶の読み解き方についてお話いただきます。

【日 時】 2015年10月9日(金) 18:00-19:30
【参 加】 無料 / 申し込み不要 / 当日先着順
【定 員】 30名
【ゲスト】 皆川典久(東京スリバチ学会 会長)
【進 行】 三浦匡史(さいたまトリエンナーレ2016 プロジェクトディレクター)

皆川典久

(東京スリバチ学会 会長)

1963年群馬県前橋市生まれ。2003年にGPS地上絵師の石川初氏と東京スリバチ学会を設立し、都内の谷地形に着目したフィールドワークと記録を続ける。2010年に「タモリ倶楽部」に出演、2012年に「凹凸を楽しむ東京「スリバチ」地形散歩」(洋泉社)を上梓。東北大学大学院非常勤講師。

三浦匡史

(さいたまトリエンナーレ2016 プロジェクトディレクター)

NPO法人都市づくりNPOさいたま理事・事務局長、地域生活デザイン代表。地域生活を豊かにするための環境整備プランニングや、都市計画マスタープランに係わる調査を実施する。現在、トリエンナーレのプロジェクトとして、さいたまの土地の理解を深めるための地域研究「さいたまマスターズ」を実施中。

3

10月10日

ナイトトーク2: 「おふとんと芸術祭の未来」

小沢剛さんに、これまでのふとん山が辿ってきた旅路を中心に、過去の作品についてお話いただくとともに、今の時代にさいたまで芸術祭を開催することの意味について語り合います。

【日 時】 2015年10月10日(土) 18:00-19:30
【参 加】 無料 / 申し込み不要 / 当日先着順
【定 員】 30名
【ゲスト】 小沢 剛(美術家)
【進 行】 芹沢 高志(さいたまトリエンナーレ2016 ディレクター)

芹沢 高志

(さいたまトリエンナーレ2016 ディレクター)

1989年にP3 art and environmentを開設。1999年までは東長寺境内地下の講堂をベースに、その後は場所を特定せずに、さまざまなアート、環境関係のプロジェクトを展開している。横浜トリエンナーレ2005キュレーター、別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」総合ディレクター(09年、12年、15年)などを務める。



あなたが誰かを好きのように、 誰もが誰かを好き | 小沢剛

参加
無料

4

10月11日

ワークショップ 「かみぶくろのくにへようこそ」

小沢剛さんと一緒に、紙袋を着たり履いたり被ったりして「ふくろ族」になっよう!何の変哲もない紙袋が、帽子や服になったり、トンネルになったり。最後にはふくろ族みんなで「ふとん山」会場にも飛び込みます!

【日 時】 2015年10月11日(日)
午前の部 / 10:00-12:00 午後の部 / 14:00-16:00
【場 所】 さいたま市プラザノース 2F 交流スタジオ
【講 師】 小沢 剛(美術家)
【対 象】 小学生以下(未就学児は要保護者同伴)
【定 員】 各回10名(第一次受付:7名、第二次受付:3名)
【参 加】 無料 / 要申し込み / 先着順

ワークショップお申込み方法

「さいたまトリエンナーレ2016」公式ウェブサイト (<http://saitamatriennale.jp/>) 内のお申込みフォームよりお申込みください。

第一次受付期間: 9月9日(水) 10:00 ~ 10月2日(金) 17:00

第二次受付開始: 10月5日(月) 10:00 ~

※各回とも定員になり次第締め切らせていただきます。

あなたが誰かを好きのように、
誰もが誰かを好き
Everyone likes someone,
as you like someone
2012

写真: 青木兼治
Photo: Kenji Aoki
展示風景: 豊田市美術館
Installation View: Toyota Municipal Museum of Art

※本展示および関連イベントにおける記録写真・映像は、さいたまトリエンナーレ2016、およびさいたま市の活動として、ウェブサイトやチラシなどの広報媒体や、報告書などに使用することがあります。ご了承のうえご参加ください。

Mum 誰でも登れる巨大な“ふとん”山が さいたまに登場!

巨大な山に、100枚以上のおふとんが重ねられた、通称「ふとん山」。現代美術家の小沢剛さんが子どもたちのために作ったこの作品は、2005年にオーストラリアのブリスベンで公開されて以来、バンコク、東京、広島市、愛知県豊田市、福島市、香川県丸亀市、そして今年は福島県いわき市、千葉県市原市を旅し、各地で大人気を博してきました。「ふとん山」は登ったり、滑ったりして、自由にあそぶことができます。同時に、自分が描いた大好きな人の絵を、見知らぬ誰かに届けてくれる「ポスト」でもあります。どうぞ大好きな人への思いを絵に描いて、山頂のポストに投函してみてください。絵は会場に展示された後、作家と一緒に次の開催地に旅立ちます。遊びと、純粋に誰かを好きな気持ちとがひとつの体験となり、見ず知らずの土地で暮らす子どもたちが次々につながっていきます。

*3~12才までの方には、お絵かき用のカードが入った封筒をお渡しします。
*どなたでも、ふとん山にのぼることができます。



小沢 剛 (美術家)

1965年(昭和40年)東京生まれ。東京藝術大学在学中から、風景の中に自作の地蔵を建立し、写真に収める「地蔵建立」を開始。93年から牛乳箱を使った超小型移動式ギャラリー「なすび画廊」や「相談芸術」を開始。99年には日本美術史の名作を醤油でリメイクした「醤油画資料館」を制作。2001年より女性が野菜でできた武器を持つポートレート写真のシリーズ「ベジタブル・ウェポン」を制作。2004年に個展「同時に答えろYesとNo!」(森美術館)、09年に個展「透明ランナーは走り続ける」(広島市現代美術館)を開催。2012年より東京藝術大学美術学部先端芸術表現科准教授。



会場:さいたま市プラザノース

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目852番地1

アクセス:

埼玉新都市交通伊奈線・ニューシャトル「加茂駅」下車、徒歩約5分

JR東北本線(宇都宮線)「土呂駅」下車、徒歩約15分

※駐車場:最初の2時間は無料。2時間を超える場合は、超過時間30分(30分に満たない場合は、30分とする)毎に108円加算します。(10円未満切り捨て)

土日祝日は混雑が予想されます。できるだけ公共交通機関をご利用くださいますよう、お願いいたします。

さいたまトリエンナーレ2016とは



**SAITAMA
TRIENNALE
2016**
さいたま トリエンナーレ 2016

126万人が生活するさいたま市に、世界に開かれた創造と交流の現場をつくりだすことを目指す国際芸術祭。テーマは「未来の発見!」。アートを鑑賞するだけでなく、共につくる、参加する芸術祭です。まちの成り立ちや知られざる自然、土地の歴史など、生活都市ならではの魅力が見える、市内のさまざまな場所が会場となります。国内外のアーティストたちが発見する、多様で多彩なさいたま。市民の皆さん、観客の皆さんとともに、自分たちのこれからの未来を発見していきます。2015年度はプレイベントとして、本番となる2016年に繋がるプロジェクトを市内各所で展開します。

主催:さいたまトリエンナーレ実行委員会

問い合わせ先(受付時間 平日8:30~17:15)

さいたまトリエンナーレ実行委員会事務局

(さいたま市 スポーツ文化局 文化部 文化振興課 トリエンナーレ係)

〒330-9588 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号

Tel: 048-829-1225 Fax: 048-829-1996 Mail: bunka-shinko@city.saitama.lg.jp

詳しくはウェブサイトへアクセス!

<http://saitamatriennale.jp/>

このイベントの開催に要する経費は295万円です。(国庫補助金を差し引いたさいたま市の負担額は、199万円です。)

2016年9月24日[土]-12月11日[日]